

2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、大学の春学期はすべてオンライン授業によるものとなりました。秋学期も、一部の演習を除いて、オンライン授業が継続しています。新型コロナウイルスの感染拡大は、経済、さらにわたくしたちの生活を一変させました。そして、物流にも大きな影響を与えています。

そこで、『物流問題研究69号(2020年秋)』では「新型コロナウイルスが物流を変える」を特集テーマといたしました。今回、初めての取り組みとして座談会を開催し、その内容と8本の論文を掲載いたしました。様々な視点から物流に与えた影響の現状と課題、さらに今後の展望を論じていただき、改めて新型コロナウイルスが物流に与えた影響の大きさ、今後検討すべき論点が明らかになったと思います。

また、2018年度から本学が取り組んでいる文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」の取り組み状況についても掲載いたしました。『物流問題研究』は、前身である『流通問題研究』が1980年9月に創刊されたことから、2020年で40周年を迎えたこととなります。この40年間、物流、ロジスティクスは、大きく変貌しました。そして特に最近では、社会でも物流、ロジスティクスが注目されることが多くなり、かつ新技術導入などによる変革は目覚ましいものがあります。『物流問題研究』においても、新しいテーマを取り上げ、積極的に社会に発信していくことの重要性が増しています。そこで本号(69号)から、『物流問題研究』を年2回発行することにいたしました。

本号から編集は、物流科学研究所の洪 京和が担当させていただきます。特集論文、一般論文について、奮って投稿していただきますよう、よろしくお願いいたします。

最後に本号の発行にあたり、ご協力していただいた執筆者の皆様に深く感謝いたします。

『物流問題研究』の内容はホームページにも掲載されています。是非、ご覧ください。

(<https://www.rku.ac.jp/about/data/organizations/laboratory/>)

2020年11月 洪 京和

本誌に関する問い合わせ先
logistics@rku.ac.jp

本号は、文部科学省私立大学研究ブランディング事業「高度なロジスティクス実現に向けての研究拠点形成と人材育成」の一環として発行しています。

物流問題研究 No.69

ISSN 1346-2016

2020年11月28日発行

非売品

編集 洪 京和

発行 流通経済大学物流科学研究所
〒301-8555 茨城県龍ヶ崎市120
電話 (0297) 64-0001 (代表)

制作 港洋社
